◆講演『ドイツにおけるエネルギー事情と地球温暖化対策の動向』

ドイツ在住の作家　　川口マーン惠美 氏

【講演概要】

日本人が拍手喝采をしたドイツの「エネルギー転換」政策が、今、完全に行き詰まっている。脱原発を目指し、再エネを急激に増やしたものの、CO2 は減らず、しかも、電気代は EU 一にまで高騰。ドイツのエネルギー政策は何が間違っていたのか?　日本が見習ってはいけない理由とは?

講師略歴

川口マーン惠美（かわぐち　まーん　えみ）

日本大学芸術学部音楽学科ピアノ科卒業。シュトゥットガルト国立音楽大学院ピアノ科修了。『ドイツの脱原発がよくわかる本　日本が見習ってはいけない理由』（草思社）が第３６回エネルギーフォーラム賞の普及啓発賞、『復興の日本人論　誰も書かなかった福島』（グッドブックス）が第３８回同賞の特別賞を受賞。その他、『住んでみたドイツ ８勝２敗で日本の勝ち』（講談社＋α 新書）、『ヨーロッパから民主主義が消える』（PHP 新書）、『そしてドイツは理想を見失った』（角川新書）、『老後の誤算　日本とドイツ』（草思社）、など著書多数。

２０１１年より、ウェブマガジン『現代ビジネス』にてコラム『シュトゥットガルト通信』を連載中（毎週金曜日　更新）。

◆講演『福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の現状と課題』

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉推進室長　　松本 純一 氏

【講演概要】

東日本大震災において、3つの原子炉が溶融するという大事故を起こした福島第一原子力発電所では、事故以降、放射性物質の飛散防止、使用済燃料プールからの燃料取り出しなどを進めています。

福島第一原子力発電所の廃炉事業における現在の取り組み状況と今後の課題について、設備、環境、それぞれの面から説明いたします。

講師略歴

松本 純一（まつもと　じゅんいち）

東京電力ホールディングス㈱ 執行役員 福島第一廃炉推進カンパニー廃炉推進室長兼福島本部

東京大学工学部原子力工学科卒業

東京電力株式会社入社、柏崎刈羽原子力発電所第一運転管理部長、東京電力ＨＤ福島第一廃炉推進カンパニー運営総括部長兼原子力改革ユニット原子力改革特別タスクフォース事務局兼福島本部。

2019 年 4 月より現職